

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽療育特化型事業所リズムストーリー松原		
○保護者評価実施期間	R8年 2 月 15 日		～ R8年 3 月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8年 2 月 15 日		～ R8年 3 月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3 月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療育を中心とした体系的なプログラムを実施し、遊びや運動・表現活動を通して発達5領域をバランスよく支援している。	音楽療育特化型事業所として、リズムや楽器、身体表現などを取り入れた活動を行い、楽しみながら発達5領域をバランスよく育む支援に取り組んでいる。	音楽療育プログラムの充実を図るため、職員間で支援の振り返りやプログラム実施前のリハーサル・内容確認を行い、複数名で意見を出し合いながらより良い支援につながるよう取り組んでいる。
2	スタッフの専門性や得意分野を活かしたチーム支援体制を整え、子ども一人ひとりに応じた支援の質の向上に努めている。	音楽活動や表現活動の中で子どもが主体的に参加できる支援を意識している。また、職員間で子どもの様子や支援方法を共有し、一人ひとりの特性や発達に応じた支援につながるよう取り組んでいる。	子ども一人ひとりの興味や発達に合わせて活動内容を工夫し、より主体的に参加できる音楽療育プログラムの充実に取り組んでいく。
3	送迎では安全面に配慮するとともに保護者との情報共有を行い、学校・事業所・家庭間を安心して移動できるよう努めている。	送迎時には安全確認を徹底するとともに、保護者や学校との情報共有を大切にし、その日の子どもの様子や気づいたことを丁寧に伝えるよう心がけている。	職員間で送迎時の安全確認や対応方法を共有しながら、安全で安心して利用できる送迎体制の維持・向上に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	音楽療育を中心とした活動を行っているため、宿題に十分な時間を確保できない場合があると思われる。	音楽療育を中心としたプログラムを実施しているため活動時間の多くを療育活動に充てており、限られた利用時間の中では宿題に十分な時間を確保することが難しい場合がある。	子どもの状況やその日の利用時間に応じて宿題に取り組む時間の確保や声かけを行うなど、活動内容や時間配分を工夫しながら学習面への配慮に努めていく。
2	施設の構造上、トイレが一つであることや廊下が狭いことなど、活動環境において課題があると思われる。	施設の構造によるものであり、活動スペースや設備に限りがあることが要因と考えられる。	安全面に配慮した活動内容の工夫や動線の確保を行いながら、安心して活動できる環境づくりに努めていく。
3	保護者アンケートにおいて体制面に関するご意見があり、職員間の情報共有や確認体制を含め、安心して利用していただける支援体制のさらなる充実が必要であると思われる。	管理者や職員体制の変更に伴い、職員間の情報共有や確認体制について、より一層の充実が必要であることが要因と考えられる。	職員間での情報共有や確認体制をより一層大切にしながら、支援内容の共有や連携を図り、安心して利用していただける支援体制の充実に向けていく。